

0437

昭和二十年

陸  
密  
綴

陸軍省
陸密
S 20~1
1

食品化スル等絶對量ノ増大ニ特ニ工夫努力スルコト

3 取得食糧ノ運用配給ニ關シテハ慢然一律ニ終ルコトナク要スレハ部隊並ニ兵員ノ兵業上ノ要求ニ即應スル如ク  
統率の見地ヨリ所要ノ調整ヲ加フルコト又軍隊内務ノ實施ニ關シ健兵對策ノ要求充足ニ特ニ遺憾ナカラシムルコト

四 算

0456

(END)

昭和廿年 壹月 卅日

本資料ハ臺灣軍及球集團ノ經理月報ニ依ル

極秘  
經戰訓第十九號

領土内空襲時ノ金融狀況ニ關スル教訓

昭和二十年一月五日  
野戰經理長官部

目次  
第一、臺灣方面  
第二、沖繩方面

所長  
0457

庶務係長

了

領土内空襲時ノ金融狀況ニ關スル敎訓  
第一、臺灣方面

本十月ニ於ケル臺灣銀券發行高ハ最高六億六千十四萬圓、平均六億二千九百八十四萬圓ト孰レモ前月ニ引續キ增高ヲ示シアルモ増加原因中ニハ本月中旬ノ本島空襲ニ因ルモノト認メラレス。主トシテ時局下財政規模擴張ニ伴フ軍官關係資金撒布増大會社生産擴充乃至運轉資金ノ放出等一般の趨勢ニ因ルモノニシテ今次空襲ニ伴フ金融狀況ニ關シテハ特記スヘキ事項ナシ  
(臺灣軍)

第二、沖繩方面

一疎開者關係ノ預金引出ノ一段落セル反面軍緊急工事關係勞務者賃銀ノ市町村農業預金ノ振替及軍需品購入代金等ノ銀行振込或ハ軍人軍屬ノ規約郵便貯金等當部ニ於ケル適切ナル施策ニヨリ預貯金ハ漸増傾向ニ轉シタル折柄十日ノ空襲ニ遭遇シ金融機關ハ勸銀支店ヲ除キ殆ンド全部潰滅シ一時金融杜絶セシモ十三日早クモ鹿兒島興銀支店力日銀代理店事務ヲ再

0458

(END)

開セシヲ始メトシテ勸銀支店沖繩興銀相次イテ自行預金ノ拂戻ヲ開始シ他方郵便局ハ主トシテ泊局及首里局ニ於テ代拂ヲ實施シアリタル所下句中ニハ那覇本局モ假廳舎ニ於テ郵便爲替業務一般ヲ開始スル等復舊極メテ迅速ニシテ一般ニ著シキ安心感ヲ與ヘ金融ハ平穩ニシテ月末頃ニハ概ネ平常ニ復セリ(球集團)

二勸銀支店ニ保管セラレアル日本銀行寄託券ハ空襲時約一千萬圓ナリシ所(部隊ノ非常準備モアリテ五百萬圓ニ過キス)資金ノ支拂増嵩セルタメ日銀代理店ニ五百萬圓ヲ交付シ殘高五百萬圓ニ過キス稍々危惧ノ念アリタル所下旬初日銀鹿兒島支店ヨリ補充寄託券二千六百六十萬圓到着セルヲ以テ支拂準備ニハ萬全ヲ期シ得ル所トナレリ(球集團)

三沖繩縣一圓ハ本邦ニ於ケル最初ノ戰災地區竝ニ代拂地區ニ指定セラレタルカ定期預金ノ期限前拂戻又ハ國民貯蓄組合貯金ノ拂戻或ハ貯蓄債券等ノ買上ハ毎日四、五件ニ過キス代拂ハ未タ實施シアラス(球集團)

0459

二